

平成27年度 予算

水道事業会計には、収益的収支と資本的収支の2つがあり、収益的収支予算については、純利益に消費税及び地方消費税を含まないことから、税抜き表示としています。

収益的収支(消費税抜き)

水道水をつくり、家庭に届けるために必要な経費とその財源です。

その他収入 142,207	純利益 490,657
長期前受金戻入(※) 277,483	減価償却費等 846,791
特別利益 215,191	その他費用 503,470
水道料金 2,251,318	支払利息 149,268
収入 2,886,199 千円	送水費 100,553
	受水費 413,612
	浄水費 381,848
	支出 2,395,542 千円

資本的収支(消費税込み)

水道施設の新設、改良をするために必要な経費とその財源です。

(単位：千円)

留保資金等補てん財源	その他事業費 83,878
収支不足額 1,544,696	企業償還元金 382,492
固定資産売却代金 2,000	五ヶ山ダム建設事業費 132,559
出資金 446,059	配水施設備費 491,317
国庫補助金 430,147	水源・浄水場施設整備費 1,805,981
工事負担金 173,325	支出 2,896,227 千円
企業債 300,000	
収入 1,351,531 千円	

収益的収支においては、平成26年度とほぼ同規模の予算となっています。業務の予定量を見ても、給水人口、年間配水量ともに横ばい傾向であると想定しています。

また、平成26年度から地方公営企業会計制度が改正され、「長期前受金戻入(※)」等を収入として計上することになりました。その結果「純利益」が好転したように見えますが、この「長期前受金戻入」は現金収入を伴わないため、補てん財源としては使えません。

資本的収支においては、平成26年度と比較して収入が約8億3千万円、支出が約16億7千万円の増となっています。これは、平成25年度から始まった東隈浄水場改良事業の本格的工事によるものです。資本的収支における収支不足額については、留保資金等の補てん財源を充てます。この内部留保資金とは、収益的収支における減価償却費等のように、現金支出を伴わないものを企業団内部に留保しているものになります。

※「長期前受金戻入」とは、固定資産の取得にあたり財源となった国庫補助金等のうち、当該年度の減価償却費に対応する額を収益化するものです。



業務の予定量

項目	平成27年度	平成26年度 (決算見込み)	増減
給水人口(人)	152,082	152,021	61
年間総配水量(m ³)	13,434,919	13,374,502	60,417
一日平均配水量(m ³)	36,707	36,642	65

主な事業

- ・東隈浄水場施設改良事業
- ・原町、埋金浄水場などの施設整備事業
- ・老朽管更新事業
- ・管路基幹整備事業
- ・五ヶ山ダム建設事業

お問い合わせは TEL (092) 571-7001 (総務課) まで